

講義 実習指導方法論②－２ （ 先生）

質 問 事 項	評 価
講師の熱意が感じられましたか？	A ・ B ・ C ・ D ・ E
明瞭で聞き取りやすい話し方でしたか？	A ・ B ・ C ・ D ・ E
進め方の速度は適切でしたか？	A ・ B ・ C ・ D ・ E
内容は理解しやすかったですか？	A ・ B ・ C ・ D ・ E
資料は適切でしたか？	A ・ B ・ C ・ D ・ E
講師の態度は適切でしたか？	A ・ B ・ C ・ D ・ E
講義は趣旨に適っていましたか？	A ・ B ・ C ・ D ・ E
専門用語の濫用に留意されていましたか？	A ・ B ・ C ・ D ・ E
受講者の興味・関心を喚起する工夫がありましたか？	A ・ B ・ C ・ D ・ E
本講義の講師要件に関する意見	
その他、気づいたことなど	

演習①～④

質 問 事 項	評 価
全員が主体的に参加していましたか？	A ・ B ・ C ・ D ・ E
進行方法は参加者に理解されていましたか？	A ・ B ・ C ・ D ・ E
企画意図に沿った進行がされていましたか？	A ・ B ・ C ・ D ・ E
事例への取り組みは十分なされましたか？	A ・ B ・ C ・ D ・ E
その他、気づいたことなど	

2. 研修シラバス全体のバランスや、内容の重複等に関する意見をお書きください。
 （全体として見たときに、加えた方がよいプログラムや、まとめても良いと考えられるプログラムがあるかどうか等）

3. その他、ご自由に。

【第2部 精神保健福祉士養成課程の実習・演習担当教員養成講習プログラム】

FAX 03-5366-8864

資料1

一般社団法人
日本精神保健福祉士養成校協会宛

精神保健福祉士養成課程 実習・演習状況調査票

※ご提出期限：8月15日 必ずFAXで返送ください。

学校名： _____ ご記入者氏名： _____

学部学科(専攻・コース等)： _____

※養成課程が複数ある場合は、この用紙をコピーの上、それぞれご記入ください。

下記の設問について、平成20年度の実施状況をお答えください。

＜精神保健福祉援助実習＞

Q1. 精神保健福祉援助実習のうち、「配属実習」の標準的な実習時間数として該当する時間をご記入ください。

(_____) 時間程度

Q2. 精神保健福祉援助実習のうち、「事前指導」の標準的な時間数として該当する時間をご記入ください。

(_____) 時間程度

Q3. 精神保健福祉援助実習のうち、「事後指導」の標準的な実習時間数として該当する時間をご記入ください。

(_____) 時間程度

Q4. 配属実習での、各学生が赴くこととしている実習施設の数について、該当する記号に○をつけてください。

- a. 原則として一ヶ所で実施
- b. 原則として二ヶ所で実施
- c. 箇所数については個別に判断しており一定していない
- d. その他(具体的な実施状況 _____)

Q5. 配属実習のうち、精神科病院等の「医療機関」における実習について該当する記号に○、あるいは空欄にご記入ください。

付問1. 実施状況について

- a. 必須にしている
- b. 原則として行っている
- c. 特に規定していない

付問2. 精神科病院等の「医療機関」における実習施設の選定について

- a. 入院病床を有するところに限定している
- b. 入院病床の有無を限定していない

付問3. 精神科病院等の「医療機関」に依頼した標準的な配属実習時間数(学生1人あたり)は?

(_____) 時間程度

付問4. 実習を行った学生の総数(_____)人中、精神科医療機関で実習を行った学生数(_____)人

〈精神科病院等の種類別の学生数（再掲）〉

- a. 精神科病院 () 人
 b. 精神科病院以外の精神科病床を有する病院 () 人
 c. 精神科診療所[病床有り] () 人
 d. 精神科診療所[病床無し] () 人
 e. その他[] () 人

付問5. 精神科病院等の実習に関する下記の項目について、該当と思われる1～4の番号に○をつけてください。

◇教員の認識(実習における重要度)【4. 非常に重要 3. まあ重要 2. あまり重要ではない 1. まったく重要ではない】

◇実習先での実施頻度【4. よく実施している 3. まあ実施している 2. あまり実施していない 1. ほとんど実施していない】

◇学生の理解【4. 十分深まった 3. 概ね深まった 2. あまり深まらなかった 1. 全く深まらなかった】

実習項目	教員の認識(重要度)	実施頻度	学生の理解
a. 外来患者の援助	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
b. 入院時の援助	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
c. 急性期の援助	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
d. 退院時の援助	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
e. 地域移行の援助 (長期入院患者等の援助)	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
f. 精神専門療法 (SST、集団精神療法等)	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
g. 家族支援	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
h. 院内多職種との連携	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
i. 関係機関との連携	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
j. 在宅患者の援助	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
k. デイケアでの集団援助	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1

付問6. 付問5のa～kの項目以外に重要であると考えておられる項目がありましたら、お書き下さい。

Q6. 配属実習のうち、社会復帰施設あるいは、障害者自立支援法における福祉サービス事業所(以下、地域の福祉施設とする)における実習について該当する記号に○、あるいは空欄にご記入ください。

付問1. 実施状況について

- a. 必須にしている b. 原則として行っている c. 特に規定していない

付問2. 地域の福祉施設に依頼した標準的な配属実習時間数(学生1人あたり)は?

() 時間程度

Q7. 今回のカリキュラム改訂に際して考える配属実習時間数(学生1人あたり)は?

付問1. 理想と考える配属実習時間数は? ⇒ () 時間程度

付問2. 現実的に望む配属実習時間数は? ⇒ () 時間程度

付問3. 理想と現実的な時間数に差がある場合には、その理由をお教えてください。(3つ以内)

- ① _____
② _____
③ _____

Q8. 精神保健福祉援助実習担当教員一人あたりの履修者数は何人ですか？

- a. 5名未満 b. 5～10名 c. 11名～15名 d. 16名～20名 e. 21名以上

<精神保健福祉援助演習>

Q9. 演習を実施している時間をご記入ください。

付問1. 現状の精神保健福祉援助演習の時間数は？ ⇒ (_____) 時間程度

付問2. 理想と考える実時間数は？ ⇒ (_____) 時間程度

付問3. 今回のカリキュラム改訂に際して希望する時間数は？⇒ (_____) 時間程度

付問4. 演習内容として取り上げたい具体的内容があればお教えてください。

--

付問5. 精神保健福祉援助演習の履修者数は何名ですか？ ⇒ (_____) 名

付問6. 精神保健福祉援助演習担当教員一人あたりの履修者数は何人ですか？

- a. 5名以下 b. 5～10名 c. 11名～15名 d. 16名～20名 e. 21名以上

付問7. 精神保健福祉援助演習の担当教員一人あたりの履修者数の上限はありますか？

- a. 有 (→ _____ 人を上限) b. 無 c. その他 (_____)

<その他>

Q10. 配属実習以外の学外授業等について実施している内容と科目名で、該当する箇所には○をつけてください。

項目／実施している科目名	精神保健福祉援助実習	精神保健福祉援助演習	その他講義科目
施設見学			
プレ実習			
ボランティア体験			
外部講師(ソーシャルワーカー)の招へい			
外部講師(当事者)の招へい			